

平成28年12月 2日(金) 第25号(191) 北九州市立折尾東小学校

学校だより



# おりひがっこ

〒 807-0824

八幡西区光明1-2-1

TEL 602-2621 奥田 淳一

子どもたち一人一人が笑顔ですごす学校をめざして



## 1 平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

平成28年4月19日(火)に、文部科学省による「全国学力・学習状況調査」が6年生を対象として行われました。本年度の調査結果の分析と今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。学校では、他の教科・領域も含め、総合的に学力向上を目指していますが、この調査を参考として、本校の子ども達の学力が伸びていくように、学校はもちろんですが、ご家庭とも協働してまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。

### ① 学力調査結果と分析

カテゴリー	全国平均との比較	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語A	全国平均正答率を下回っている。	全国平均正答率を下回っていたものの、差は昨年度と同等である。 ・読解力の問題は昨年度より向上してきた。話す・聞く力の向上が課題である。○漢字を読む問題 △ローマ字の問題
国語B	全国平均正答率を下回っている。	・全国平均正答率はやや下回ったが、昨年度より差は縮まってきている。 ・話す・聞く力の向上が課題である。 ○グラフをもとに自分の考えを書く問題 △目的に応じて読む問題
算数A	全国平均正答率を下回っている。	・全国平均正答率は下回ったが、無解答率が低く、粘り強く取り組んだ。数と計算は基礎ができていた。量と測定・数量関係が課題である。 ○分数の乗法の計算をする問題 △割合の問題
算数B	全国平均正答率を下回っている。	・全国平均正答率をやや下回っていたものの、図形領域は上回った。 ・量と測定・数量関係が課題である。 ○正方形に内接する円の問題 △説明を記述する問題

### ② 学校における学習状況に関する調査結果と分析

- ・授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思うと答えた児童は、全国を上回っている。全校で取り組んでいる成果がでてきている。
- ・読書が好きと答えている児童は、全国を上回っている。読み聞かせや読書を継続的に行い、楽しさを味わうことができている。
- ・話し合う活動を通して、自分の考えを人に伝えたり、深めたりすることが難しいと考えている児童の割合が多い。

## 2 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

### ① 家庭学習習慣に関する調査結果と分析

- ・学校の宿題をしている児童の割合は、全国平均より高い。
- ・自分で計画を立てて、勉強していると答えた児童の割合は全国と比べて低い。
- ・学校が休みの日に勉強を全くしない児童の割合は全国と比べて高い。
- ・家庭学習の時に、自主学習をしている児童の割合が全国と比べて低い。

### ② 生活習慣等に関する調査結果の分析

- ・人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合は、全国と比べて高い。
- ・自分にはよいところがあると答えた児童の割合が、全国と比べて低い。成功体験を積み、達成する喜びを味わわせていくことが大切である。
- ・毎日同じぐらいの時間に寝ていると答えた児童の割合が、全国と比べて低い。

## 3 課題解決のための重点的な取組

### ① 学校で取り組むこと

- 朝自習の充実(国語・算数のアシストシート問題、視写、音読、読書など曜日を決めて実施)
- 授業の中などで、話す力・聞く力・伝え合う力を育む指導法の研究
- 授業の中などで、自分の考えを書く活動を位置付ける。
- 全学年、個に応じた習熟度別学習を実施する。○教師の指導力の向上を図る。

### ② 家庭で取り組んでいただきたいこと

- 毎日、学習する習慣をつける。(低学年15分、中学年30分、高学年45分)  
小学生のうちにぜひ、身に付けてほしい習慣です。その間はテレビを消して、静かな環境にすることが大切です。終わったら、のびのびさせてあげてください。
- 内容は宿題と自主学習・読書などを行う。  
宿題は国語や算数などの基礎的な復習が中心です。繰り返しやることで、「わかる」から「できる」になります。宿題の内容をよく見て、つまづきを見つけたり、がんばったところをほめてあげたりしてください。自主学習に取り組むことで、達成感や学習意欲が増します。